



新年を迎え、会員皆様の躍進の年でありますようご期待申し上げます。

## 確定申告に関するお知らせ

平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告 2月16日（木）～**3月15日（水）**

商工会へ決算事務代行を委託されている事業所の皆様、事務委託を希望される事業所の方につきましては、棚卸や帳簿の整理等の決算の準備をお願いします。

\*計画的に決算事務を進めさせていただくため、**2月中**を目途に順次ご案内し実施しますので、ご協力方お願いいたします。

### checkポイント！

- ▶ 還付申告を含め、確定申告作成にあたっては、復興特別所得税の記載漏れにご注意下さい。
- ▶ 確定申告書にマイナンバーの記載が始まります（法人除く）
  - ① 申告をする方や扶養親族の方などのマイナンバーの記載が必要となります。
  - ② マイナンバーを記載した申告書を提出する際には、申告者ご本人の本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。④控除対象配偶者、扶養親族及び事業専従者などの本人確認書類は**不要**です。

● 本人確認書類とは **例1** マイナンバーカード

**例2** 通知カード + 運転免許証、公的医療保険の被保険者証など（2種類準備）

● 作成にあたり、特定個人情報の取扱いに関する同意書を商工会で用意しておりますので**印鑑**を持参ください。

◇ 本年度派遣税理士は、さくら税理士法人 小田切由枝さんです。

(参考) 通知カードとは、**一昨年**に郵送されたものです！

## 商工会新年顔合わせ会を開催

1月18日（水）に「レストランよねくら」にて行われ、ご来賓として、池田町勝井町長、田井町議会議長、日本政策金融公庫河野統括、北洋銀行竹澤支店長、池田町産業振興課職員4名の方を迎え、総勢41名が出席し開催されました。

田岡会長より商工会の情勢、会員の事業継続に向けた支援の必要性、計画づくりと持続化補助金の効果的な活用など挨拶を交え話がなされました。勝井町長からは昨年の災害、まちの次年度予算や計画についてふれた祝辞をいただき、交流に入りました。**ひと・もの・こと**がうまく循環するまちづくりを期待するところです。

## 明るい超高齢社会のミカタ

高齢者を理解するための6つのキーワード



**2月25日(土)**

午後1時30分～3時

ところ：田園ホール

主催：社会福祉協議会

池田町は、2025年に生産年齢人口と高齢者人口が逆転してしまうと予測されています。更に町の人口の半分が高齢者という時代が間もなくやってきます。

暮らし方、消費行動、介護や生活課題等、高齢者の特性を理解しておくことは、今後の暮らしを考える上で大切なこととなります。

地域社会並びに、商工事業における需要（消費行動）にも深く関わりますので、会員の皆様にも聴講していただければ幸いです。

\* 入場無料ですが、『整理券』が必要です。商工会にもございますのでご用命ください。

### 講師

株式会社電通 電通総研 研究主幹  
電通シニアプロジェクト代表  
齊藤 徹 氏

専門分野は、超高齢社会を中心とした生活/消費、流通、街づくりなど。主な著書として「吉祥寺がいま一番住みたい街になった理由」、「団塊マーケティング」など。

# 全国事例紹介

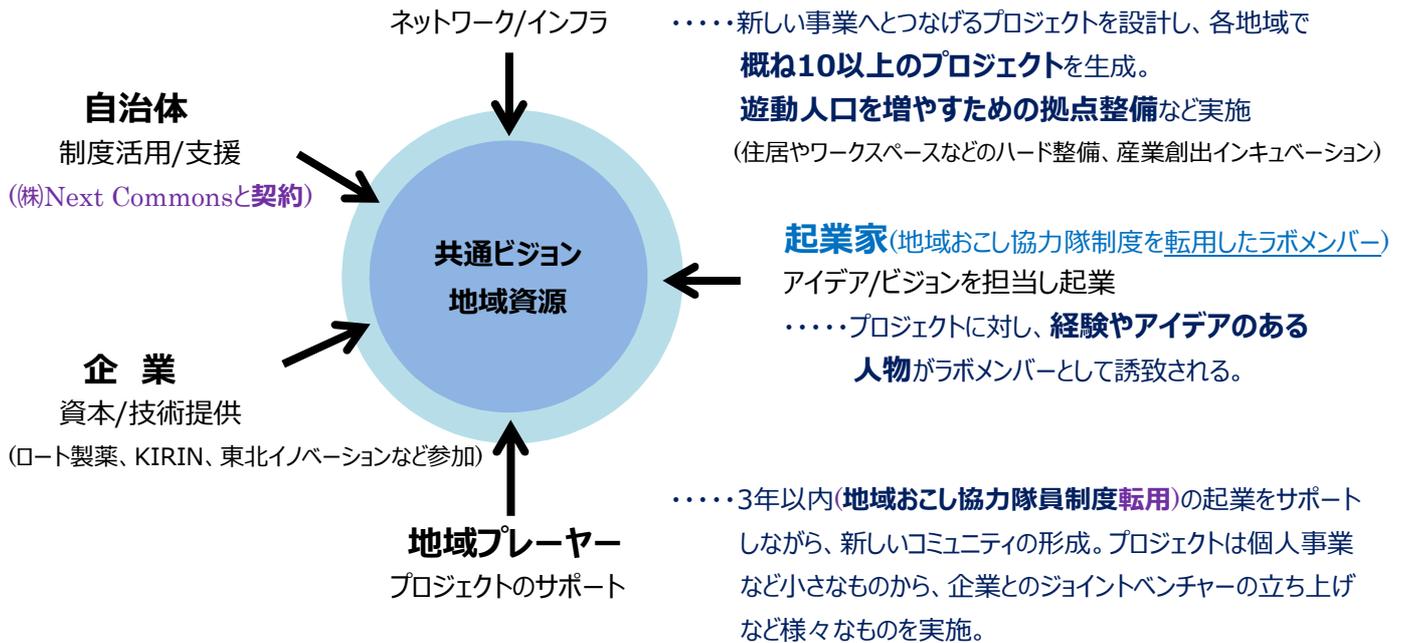
## 岩手県遠野市 「Next Commons Lab」というプロジェクト

地域の資源を可視化して、未来の可能性を見いだすための事業



昨年、人口22,000名の遠野市で、「NCL（Next Commons Lab）」を立ち上げるため、地域資源の発掘と可視化、セクターを超えたパートナーシップ、起業家の誘致や育成、地域での拠点整備など、様々な施策・取組みがスタートしました。このシステムの特徴は、**地域×企業×個人(起業家)が新しい共同体**として、共通のビジョンをもち進めること、(株)ネクストコムズがプロジェクトパートナーや起業家の公募に大きく関わっていることです。現在、ラボ開設が南三陸、奥大和、加賀ほか全国10市町村ほどに広がりつつあります。

### Next Commons Lab とは



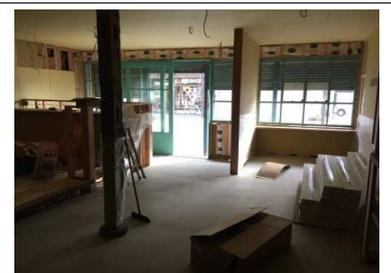
### 導入プロセス(プロジェクトの流れ)

- 1 地域のリソース&課題の発掘
- 2 ビジネスやプロジェクト化の兆し
- 3 様々なステークホルダーとのパートナーシップ  
(自治体/企業/専門家/地元プレイヤー/投資家など)
- 4 プロジェクトのフレームを設定
- 5 プロジェクト毎に複数セクターからのチームを編成
- 6 プロジェクトメンバーとなる人材募集
- 7 **Next Commons Lab の発足**

- 全国から83名が応募し、**起業家16名**を採用。
- **遠野市のプロジェクトが開始**
  - ・産前産後ケアプロジェクト
  - ・発酵プロジェクト
  - ・ローカル・テック・ラボ
  - ・超低コスト住宅プロジェクト
  - ・遠野デザインプロジェクト
  - ・Beer Experience
  - ・フードハブ・プロジェクト、限界集落プロジェクト
  - ・チームビルディング、ゲストハウスなど

クラフトビールづくり、ブルワリー造成とゲストハウス計画、産業を生み出す「つくる大学」、発酵ベンチャーの立ち上げ、遠野産プロダクトのブランディング・公共サイン計画、情報誌づくり、若者の仕事づくりの拠点、商店街に向けてライブラリーやキッズルームの開設、3頭のマイクロ養豚など様々な**コト**が進められている。

**起業家**の前職も銀行、化学メーカー勤務、イタリア出身者、NGO経験、大学休学者、海外30か国を旅行した方等、バラエティーに富んだメンバーです。



## 商工会月刊ダイアリー 2月

- |     |                      |      |
|-----|----------------------|------|
| 15日 | 地域ブランディング会議(会員・観光事業) | 商工会館 |
| 17日 | トータルプラン策定支援事業(最終)    | 商工会館 |
| 23日 | 十勝管内商工会連合会正副会長会議     | 帯広市  |